

国賠近畿ブロック会議奈良で開催



戦前の学生処分の
資料調査と公開を

溝川悠介氏が記念講演

11月16～17日に奈良市で開かれた2021年近畿ブロック会議で、大阪府立大学名誉教授・国賠同盟奈良県本部顧問の溝川悠介氏が、「全国の大学関係者の治安維持法犠牲者の調査・研究・顕彰活動の発展をめざして」と題して記念講演を行いました。溝川氏は父良治さんが戦前大阪外国語学校から退学させられた理由を調査する取り組みでの中把握した内容を詳しく報告し、「戦前の学生処分の資料調査と公開を求めよう」と呼びかけました。

溝川氏は、①父良治氏の足跡を織り交ぜた「戦前大阪外語社研のプロフィール」、②「大学に対する父溝川良治の学籍簿記録の開示請求」、③「『戦前大阪外語社研研究会』の発足と取り組み」について、事実に基づき詳しく報告、今後の取り組みの方針・展望を示し、参加者に感銘をあたえました。講演で述べられた「むすび」要旨は別項5ページに掲載。

講演を受けて、全体会議で、大阪民衆史研究会副会長・戦前大阪外語社研修会事務局の松浦由美子さんが「戦前大阪外語社研研究会」の発足の経緯にふれ、「大学関係者のネットワーク」の形成の重要性を強調。また、二日目の分散会でも大きなテーマとなり、大学関係者のネットワークの形成に向けた発言が相次ぎました。



奈良県版
No. 347
2021年12月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
奈良県本部
〒630-8442
奈良市北永井町277-3
田辺実氣付
☎ 0742-61-7194
振替 0990-2-209460
治安維持法国賠同盟
奈良県本部

われわれの運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
一、治安維持法体制の復活に反対する
二、国は、治安維持法が人道に反する悪法であつたことを認めること
三、国は、治安維持法犠牲者に賠償を行うこと

全国の学者・研究者、遺族の大規模な結集を

する事が大事と考えてきました。

開催県を代表して
田辺会長があいさつ

ご参加のみなさん

近畿ブロック会議の開催県として

を申し上げます。

コロナの事もあり、規模は縮小しての開催となりましたが、ともかくブロック会議を開催出来てお互いに喜び合いたいと思います。

開催県として、今回、溝川悠介先生に、記念講演を行つて頂くことになつたいきさつを述べさせていただきます。

憲法改悪の策動許さ
国賠同盟の役割果た
国賠同盟近畿ブロッ
会議に50名が参加

2021年近畿ブロック会議は、コロナ禍で一年延期して、さまざまな制約があるなかで奈良県で開催されました。改憲勢力が衆議院でも3分の2を超える改憲策動が強まる総選挙後あらたな情勢のもと、民主諸団体とともに憲法を守る闘いに全力をあげる中で、全国2万5千名の同盟に発展させたため、各府県で全力をあげることを誓いました。また、「映画『わが青春つき』とー伊藤千代子の生涯』の制作・上映運動を成功させるため力をあわせ、取り組むこ

一日目の全体会では、田辺実県本部会長が開催県としての歓迎の挨拶を述べた（要旨別項）あと、大石喜美恵中央本部副

見事な運営でした、他県から感想
コロナ禍のなか、50名に規模を縮小して
開かれた近畿ブロック会議には、50名が参
加しました。開催県として奈良県からは、
16名が参加。12名の県本部スタッフが力
を合わせ、準備の段階、当日の運営に支障
のないように万全を期しました。「見事な
運営でした。溝川先生のご報告も素晴らし
かつた」（大阪府本部事務局長）との感想も
寄せられています。

会長が近畿ブロック会議責任者として挨拶
続いて中央本部事務局長が「近畿ブロック
会議への提案 第40回全国大会までに2万
名の同盟を建設するうえでの留意点」を報
告。つづいて、大阪府立大学名誉教授で国
賠同盟奈良県本部顧問の溝川悠介氏が記
念講演を行いました。

また、第一日目の全体会での各県の報告
が行われ、奈良県からは田辺県本部会長と
宮本次郎青年部長が発言しました。その内
容は次号に掲載します。

参加者の感想

治安維持法犠牲者に対する

会議に参加して

す。

を合わせ、準備の段階、当日の運営に支障のないように万全を期しました。「見事な運営でした。溝川先生の（）報告も素晴らしかった」（大阪府本部事務局長）との感想も寄せられていました。



挨拶する田辺会長の関係者で進められている先進的な運動・闘いに学び連帯し共同

同時に、奈良県が取り組んでいる治安維持法犠牲者・長谷川テルの顕彰事業の推進に関わって、治安維持法違反容疑で検挙されただけで、卒業を半年後に控えながら、奈良女子高等師範学校を追われたことについて、奈良女子大学に、学問の府にふさわしい対応を求めることが大事だと考えています。

全国の学園の運動を交流するネットワークを形成できないものかと考え、溝川先生に相談したところ意気投合した次第です。私は、この機会にこの分野の闘いが大きく発展することを心から期待するものです。それは、全国で取り組まれている先進的な運動と連携し、全国規模で学者・研究者だけでなく、多くの遺族を含め、あらたな運動が全国的規模で発展する契機となるのではないかと期待しています。

また、わが国に、戦前も諸外国からの留学生を受け入れてきましたこともあり、治安維持法で不当な扱いを受けた留学生も少くないと思います。国際的な広がりをもつ取り組みになることが期待されます。溝川先生は、力をこめてご講演を準備してい

治安維持法犠牲者への国家による謝罪と賠償の実現を
求め再び戦争と暗黒政治を許さない運動とも連携して
すすめる

溝川悠介氏の講演の「むすび」から

溝川氏が講演の「むすび」で述べられた「戦前の学生処分の資料調査と公開を求める要旨は以下の通りです。

・「戦前大阪外語社研研究会」では、治安維持法下における学生弾圧の実態を調査・研究することを正面に据えて、大学や関係機関に対し次のような働きかけを行っていくことを検討し、行動も始めています。

・『大阪外語大学・大阪大学外国語学部百年史』に「治安維持法による大阪外語学校学生弾圧事件に関する記事の掲載を要望。

・戦前、全国の大学で活動していた進歩的学生の多くが治安維持法により弾圧され、退学や放校の処分をうけている。大阪外語においても、1922-1930年度入学の社研メンバーのうち少なくとも15名は、中退や放校となっている。大阪大学外国語学部に対して、それらの学生処分に関する資料の存否調査を申し入れ、存在する場合はその公開を求めます。

・今後さらに弾圧事件の資料調査や情報公開および懇談等を学部、大学当局に適宜申し入れるとともに、情報公開にとどまらず治安維持法に関連した処分者の名誉回復、顕彰等の対応措置などについても要望を準備中。

・この運動は、大阪外語にとどまらず全国の大学関係者の治安維持法犠牲者の調査・研究・顕彰活動を発展させるために、田辺実・国賠同盟奈良県本部会長から呼びかけられた“全国的ネットワークの立ち上げ”にも呼応しているものです。また、北海道大学・「宮澤一郎事件」運動などに学び、諸団体と協力し、各機関に弾圧犠牲者の名誉回復などの措置を取ることを求める全国的運動に発展させることも視野に入れ、治安維持法犠牲者への国家による謝罪と賠償の実現を求める全国的な運動や、再び戦争と暗黒政治を許さない全国的運動とも連携して運動をすすめます。

枕抱えて

たなかすみえ

共産党の人を助けてあげたいんや
私は「一リヤンで我慢できるから

これから取り組んでいく伊藤千代子の生涯に象徴されるのだと思いますが、治安維持法犠牲者はいわゆる「國賊」などというものではなく、軍事暗黒社会を戦後平和国家に生まれ変わらせる希望の燈火だったのだ

隙あらばパジャマを脱ぎベッドに座つていいふんわり眼差しでティッシュを懶摶みカラになるまで何度も何度も放り投げる掌に雪のように舞い落ちるの眺める離れて見られているのも気にせず

日がな一日繰り返していくある時一人で居た女性と目が合つた車いすを動かして傍までやつてきたとられまいと両腕で枕を抱きかかえながら

嫁に言い聞かせるかのように話し始めるこれは大切なんや特高に追われて必ず必ず逃げ通してお腹すかして私のところに来るんやから一杯食べさせてあげなあかんのや

れながら、「國賠があまり知られていない」という言葉が胸に残りました。

隙あらばパジャマを脱ぎベッドに座つていいふんわり眼差しでティッシュを懶摶みカラになるまで何度も何度も放り投げる掌に雪のように舞い落ちるの眺める離れて見られているのも気にせず

日がな一日繰り返していくある時一人で居た女性と目が合つた車いすを動かして傍までやつてきたとられまいと両腕で枕を抱きかかえながら

嫁に言い聞かせるかのように話し始めるこれは大切なんや特高に追われて必ず必ず逃げ通してお腹すかして私のところに来るんやから一杯食べさせてあげなあかんのや

隙あらばパジャマを脱ぎベッドに座つていいふんわり眼差しでティッシュを懶摶みカラになるまで何度も何度も放り投げる掌に雪のように舞い落ちるの眺める離れて見られているのも気にせず

日がな一日繰り返していくある時一人で居た女性と目が合つた車いすを動かして傍までやつてきたとられまいと両腕で枕を抱きかかえながら

*治安維持法は軍国主義下で創立間もない共産党の弾圧を目的に、国民全体への私有財産否認、社会主義的思想や運動、研究までも奪い投獄。多くの獄死者、出獄直後も死する犠牲者を出した。

2002.2.13(水)新聞「赤旗」より引用

隙あらばパジャマを脱ぎベッドに座つていいふんわり眼差しでティッシュを懶摶みカラになるまで何度も何度も放り投げる掌に雪のように舞い落ちるの眺める離れて見られているのも気にせず

日がな一日繰り返していくある時一人で居た女性と目が合つた車いすを動かして傍までやつてきたとられまいと両腕で枕を抱きかかえながら

隙あらばパジャマを脱ぎベッドに座つていいふんわり眼差しでティッシュを懶摶みカラになるまで何度も何度も放り投げる掌に雪のように舞い落ちるの眺める離れて見られているのも気にせず

日がな一日繰り返していくある時一人で居た女性と目が合つた車いすを動かして傍までやつてきたとられまいと両腕で枕を抱きかかえながら

隙あらばパジャマを脱ぎベッドに座つていいふんわり眼差しでティッシュを懶摶みカラになるまで何度も何度も放り投げる掌に雪のように舞い落ちるの眺める離れて見られているのも気にせず

日がな一日繰り返していくある時一人で居た女性と目が合つた車いすを動かして傍までやつてきたとられまいと両腕で枕を抱きかかえながら

隙あらばパジャマを脱ぎベッドに座つていいふんわり眼差しでティッシュを懶摶みカラになるまで何度も何度も放り投げる掌に雪のように舞い落ちるの眺める離れて見られているのも気にせず

日がな一日繰り返していくある時一人で居た女性と目が合つた車いすを動かして傍までやつてきたとられまいと両腕で枕を抱きかかえながら

郡山独自の歴史研究の大切さを改めて認識

杉本英雄(大和郡山支部)

私もがんばります

映画「伊藤千代子の生涯」制作・上映運動で奈良県の遅れ実感

奈良市 杉下ゆき子

初めて近畿ブロック会議に出席しました。

身にまとわりつく衣服を剥ぎ取り

名前をえどこかに捨て去ってしまった今

米袋だけが女性の心を優しく包んでいた

あなたがおもむろに腰を下ろして

身にまとわりつく衣服を剥ぎ取り

成されたこと、すういと思いました。

奈良市で支部を作るときに誘われて入会した私ですが、もっと増やす絶好の機会だったのですね。様々な制約・困難ななかで、仲間を増やすために、役員会など事が大事だと思います。

来春の「伊藤千代子の生涯」の映画会成のため、私も力を尽くそうと思っているのですが、「映画千代子運動情報」のNo.24を見てびっくりしました。北海道と長野がダントツに頑張っておられます。奈良県の遅れを実感しました。私も実行委員の一員として、皆さんその後を追つて頑張りたいです。

他県の参加者から次のようなコメントが寄せられています。

溝川先生の「報告も素晴らしいかった

国賠同盟近畿ブロック会議㏌奈良

調査部 リレー投稿⑥-2

田辺 実

—『奈良刑務所物語』—治安維持法で囚われた人々』の刊行に携わって—

2021年12月

I 新版の到達度とその構成、執筆・協力者

新版『物語』は、治安維持法等弾圧法規にもとづいて奈良刑務所に収監された先人の闘いの記録が主な内容ですが、明治時代

見事な運営でした。溝川先生のご報告も素晴らしかった。(また)実行委員の皆さん的心遣いも素晴らしかったです。特に青年が随所で活躍するのは奈良ではのもので、羨ましかったです。大阪も見習つて来年の40周年の1年間:2022年

12月31日までには青年部を立ち上げたいと決意しました。お忙しい中をわざわざ宮本次郎さん、向川征秀さんを参考させて頂いてありがとうございました。

(今回近畿ブロック会議に参加した)

山本一徳さんもお二人とお話をすると、大いに期するところがあつたらしく、事務局を手伝つて頂くことになり毎週火曜日に事務所に来てくれることになりました。彼が中心になり、大阪の若い地方議員を組織してくれるようになって欲しいものだと考えております。(甲斐富貴雄大阪府本部事務局長)

川 柳

大和郡山支部

杉本英雄

宮参り異様な職(のぼり)憲法改正行きたいと思てた店がまた閉店議席増え改憲あおる維新流

奈良の愚僧

飲み放題社長のおこりだ自販機でうな重だ三年ぶりで涙出る

の「奈良監獄」時代及び戦後の奈良少年刑務所時代に投獄・収監された先人の事績も収録されています。その到達と構成の概要是以下の通りです。

更なる研鑽・研究を期待

1、治安維持法犠牲者の事績の調査・研究・顕彰活動の一環として取り組んできた成果の一部ではあります、重要な到達点でもあります。「一部」という意味は、姉妹編として『奈良県の治安維持法犠牲者名簿』(2016年刊)があります。重要な到達ではあるが、それぞれの公判記録などは確保されていません。

「調査・研究・顕彰」という取り組み全体のなかでは、それぞれ緒に就いた程度のもので、特に「研究的」な内容は乏しいと自覚しています。今後、私たち国賠同盟奈良県本部の研鑽はもとより、学者・研究者の研究によって補充されることが期待されます。

多数の執筆者、全国の同盟組織の協力も

3、新版『物語』は7名の県同盟調査部員

のそれぞれの得手を發揮したチームワークによって成し遂げられたものです。同時に全国の同盟組織を中心に、奈良刑務所に収監された人々に関する資料を確保している

署名数・会員数の到達

(十一月一日現在)

団体署名 十八(前月比プラス十一)

個人署名 二〇九(前月比プラス一二〇)

会員数 四一四名

(前月比同)(一名拡大、一名死亡)

旧奈良監獄署名 二〇一(前月比七六増)

個人署名 二〇九(前月比プラス一二〇)

会員数 四一四名

方々の協力によって補充されています。

執筆・協力者は23名（内故人は7名）です。その氏名は、神林規子（大阪堺市）、工千子（奈良市）、松永洋介（奈良市）、田中隆夫（兵庫県）、小西武雄（兵庫県）、島田耕（滋賀県）、谷彌兵衛（橿原市）、樽井幸一郎（橿原市）、鶴田至弘（和歌山県）、西田清（滋賀県）、松浦由美子（大阪市）、南本黙（和歌山県）、松永洋介（大阪府）、浦川武（奈良市）、以上16名。故人、市井清一（兵庫県）、戎谷春松（東京都）、楠山通（和歌山県）、小針実（奈良市）、高田鉄造（大阪府）、戸崎曾太郎（兵庫県）、榎本實雄（奈良県・東吉野村）以上7名（敬称 肩書略）。

貴重な資料と提供していただいた方が2名（静岡の江川佐一、北海道の宮田沢）です。いざれも敬称・肩書略。他に、データの入力の協力者2名です。記して謝意を表明いたします。

（次号に続く）

編集後記

自公政権の国民無視のコロナ禍への対抗に翻弄されながら、平和と民主主義を守る諸課題に取り組みつつ、歴史的総選挙を闘った激動の2021年をあと旬日で暮れようとしています。厳寒期を迎えるみなさんがおすごしでしょうか。

当号は、11月16～17日に奈良市内で行われた2021年国賠同盟近畿ブロック会議の特集となりました。コロナ禍のこともあり、一年延期して規模も縮小して開かれましたが、総選挙の結果を踏まえ、憲法擁護の新たな闘いと全国2万名の同盟の確立、伊藤千代子の映画製作・上映運動の成功目指す取り組みについて成果と教訓を学び合い交流を深めました。

また、国賠同盟奈良県本部顧問の溝川悠介氏の「全国の大学関係者の治安維持法犠牲者の調査・研究・顕彰活動の発展をめざして」講演は、国賠同盟の会議にふさわしい内容で、参加者に感銘を与えました。開催県として奈良県同盟は会議成功に大きく貢献したことを誇りにしていきたいと思います。

映画「わが青春つきるとも一伊藤千代子」の映画製作・上映運動の成功目指すとりくみにも力を入れつつ、会員拡大を進めるとともに年末・年始の財政活動を成功させ、新たな闘いの新年を迎える準備をすすめようではありませんか。

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部常任理事会